

講座名（専門科目名）	器官制御外科学（整形外科）	教授氏名	
学生への指導方針	自主性を尊重しつつ、整形外科基礎研究について実験手技の習得、新知見の獲得を目指します。		
学生に対する要望	広い視野を持ち、粘り強く研究に打ち込むことが研究成果につながります。		
問 合 せ 先	(Tel) 06-6879-3552 (Email) sotsugo_hisho@ort.med.osaka-u.ac.jp	担 当 者	田中 啓之
その他出願にあたっての注意事項等	出願にあたっては、教授面談を要件といたします。		

（以下教室紹介）

整形外科は対象とする研究領域が広く、関節や靱帯、筋といった運動器領域のみならず、脊髄・末梢神経、骨軟部腫瘍など多岐にわたります。大学院では主に基礎研究を行います。特に以下の3つの分野に関して重点を置いています。

1. **Biology** に関する分野： 骨代謝、軟骨代謝、肉腫分子生物学、末梢神経再生、骨免疫、骨循環、骨病理に関する研究を、主に器官制御外科学（整形外科）教室で行っています。再生治療については未来医療センターと連携して研究を行っており、椎間板再生治療については京都大学 **iPS** 研究センターと、関節軟骨再生治療については大阪保健医療大学とも連携して研究を行っています。

2. 運動学に関する分野： バイオメカニクス、キネマティクス、スポーツ整形外科に関する研究を、健康スポーツ科学講座や運動器バイオマテリアル学寄附講座と連携して行っています。スポーツ整形外科に関して主に膝半月板再生治療について健康スポーツ科学講座と連携して研究を行っています。

3. 医工学に関する分野： コンピューター支援技術、バイオマテリアル、インプラント開発に関する研究を運動器医工学治療学寄附講座と連携して行っています。主に、ナビゲーションを利用した手術支援技術や、非金属製インプラント、金属積層造形インプラントに関する研究開発を行っています。

条件が整い希望があれば、上記の各分野にまたがって複数のテーマについて研究を行う場合もあります。大学院に在学する期間で、指導教官のもと、研究テーマについて一定の水準を満たした報告が完了できるよう、研究生活をサポートします。